



投稿ください 市民の皆さんの意見交換の場がこの市民談話室です。テーマは自由です。あなたの意見を気軽に寄せてください。採用文には薄謝を差し上げます。紙面の都合上、文を短くすることがあります。あて先は、大字白根一三三五 白根市役所企画財政課広報広聴係です。

ごみ集積所に思う 自分たちで責任持って清潔に

上杉節子さん (上塩俣・農業・37歳)

今日はごみ出し。連日の雨降りで、台所などですぐ腐れ、ごみの袋がいつのまにか数袋になつてしまふ。腐って水気が多いごみでは収集していく人がかわいそうなので、水気を取ったり悪いのは畑の埋立地に持っていくて捨てる。

ごみ集積所に持っていくとごみ



末をしている姿を見て考えさせられます。

自分たちのごみを出す場所は 参院選投票率低下を憂う

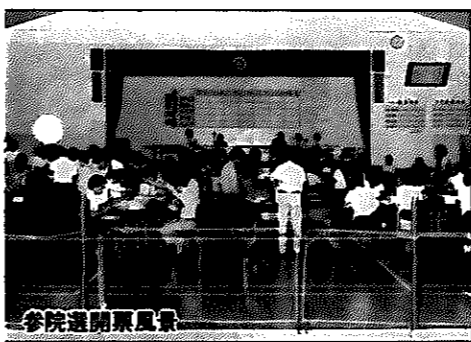
若者の積極的な投票に期待

大井義雄さん (二の町・自営業・59歳)

先般行われた参院選の投票率が、当市は五二%を割る県下最低となったが、市民の一人として残念に思う。この理由としては、初めての比例代表制の煩わしさ。地方選、衆院選と比べ、政治路線が急変しない。直接かわりがないように、加えて政治不信感が伴う。などがあげられると思う。

現在、信頼するに満足な党及び人物が少ないことは事実かも知れない。だが、少しでもふさわしいと信じる党、立候補者を選び出すのが私たちの権利であり、務めでもある。いかなる政治でも、常に私たちの身辺にあることを忘れてはならない。

この度の参院選投票日の三日前、テレビで著名なタレントが政治関心について「信頼するに



総合体育施設

一日も早く体育館の建設を

星 勉さん (次郎右工門興野・農業・72歳)



体育館建設が待たれる総合体育施設用地

二十市の中でも現在、白根市には、他市の市民会館などのような人のたくさん集まる集会に使える施設がなく、集会を開く場合、白根第一中学校の体育館を借用しているような状態です。市の財政、政府の行革等の関係で、誠に容易なこととは思いますが、白根市として、現在最も市民の声が高い体育館など施設の建設が急務だと思えます。

人生に遅すぎるといふことではない」という言葉を知ったのは割合に最近のこと、それを痛切に感じ始めたのはもっと後になってからのことです。もう二十年も前になりましたよ。私に運転免許を取らないかと勧めてくださった方がありました。「この年になって、もう遅すぎるわ」と、これが当時の私の思いでした。今になってあの時、何とかしてれば……などと後悔の念が頭をかすめます。こんな思ひは、どなたにもた

勇気を出して実行を

田沢靖子さん (庄瀬・主婦・60歳)

「人生に遅すぎるといふことではない」という言葉を知ったのは割合に最近のこと、それを痛切に感じ始めたのはもっと後になってからのことです。もう二十年も前になりましたよ。私に運転免許を取らないかと勧めてくださった方がありました。「この年になって、もう遅すぎるわ」と、これが当時の私の思いでした。今になってあの時、何とかしてれば……などと後悔の念が頭をかすめます。こんな思ひは、どなたにもた

川柳



好物を供えて亡父を偲ぶ盆世は末と嘆く隣りに美談記事かき水孫とかつこむ幸がある亡父の歳に追いつき墓に黙然す友きたり一升びんを空にする夫婦喧嘩仲をとり持つ不意の客

佐藤トミノ 大井 義雄 織田 セツ 竹石 甚五 堂下 正直 今井 七郎

銀めしの味死語となる米ばなれ コックリの神秘いろはの字を渡る 手作りでハート射とめた嬉しい日 長寿国俺も周もなく仲間入り ある日ふと凡夫が書いた果たし状 活発な嫁のリードでいる平和 遺影背に亡母の教えを子等に説く 賽銭で運の扉をこじあける 周閉みな山が社長の出生地 したたかな女奥の手ふたつ持ち 福耳がしぼんで妻とする苦勞

吉川 末吉 山岡 フミ 西條 ムラ 米野 光雄 本間 吾朗 後藤マサノ 田村 恒夫 岡村 清 高橋祐四雄 長井 徳市 花岡 増男

俳句

真実の犯人へ閻魔が鏡研ぐ 窓際に座るとはしやく落ちこぼれ 惜しみなく花切りとるや盆供養 あちこちに太鼓の音や祭り月 児の昼寝手まねで値段きめており

中村 尚治 吉川 彰

短歌

灼熱に血潮のたぎる甲子園 優勝への道険しく遠く

中村 京



ぼくたち わたしたちの 部落・町内会



新飯田小学校6年 金子圭美さん

世帯数 23世帯 人口 114人 (男52人 女62人) (8月1日現在)

私たちの部落は「館」という字を書いて、「たて」とよんでいきます。昔の書物や、お年寄りの話によると、館の部落は、新飯田の中心だったそうです。今でもお宮やお寺があります。それに、大屋様(地主)があつて、大きな力を持つていたそうです。綿屋、米屋、こうじ屋、おけ屋、しんさいという漢方医もいたとか。今でも屋号として残っています。それから、丸山氏がやって来て、「館」を造ったとも書いてあります。なぜ丸山氏が、この土地に来たのか不思議に思いました。きっと、この丸山氏の大きな館があつたことから、「館」という名がついたのだと思います。このように、古い歴史を持つている館の部落を大切にしたいと思います。